

紫波町が進める「循環型まちづくり」の一環である「環境学習のまちづくり」を、町では環境団体と協働で進めています。今号では「環境マイスター紫波」の活動をご紹介します。

## 〇〇〇 環境マイスター紫波の活動 〇〇〇

町が平成17年から開催している「環境マイスター養成講座」の修了者により、平成18年に設立されました。紫波町の自然環境を100年後の子どもたちに伝えていくために、みんなが環境に関心を持ち、環境を大切にする意識の高揚を図ることを目的として活動をしています。

今回は活動のひとつ、町内の小中学校などへの「出前講座」。7月15日には西の杜小学校としては初めての水生生物による水質調査が、5年生44名を対象として滝名川で行われましたので、その様子を紹介します。



今回のマイスターのスタッフは16名。安全に調査が行われるよう、子どもたちが来る前に、学校の先生と打合せや川の状況と道具の確認をします。子どもたちが集合したら、調査の目的と注意事項をお話します。



川に入る前に透明度計での透明度測定や、パックテストを使って水質検査を行います。飲み水に近いきれいな水という結果でした。この測定は雨などの直近の影響を受けやすいので、次に水生生物で調査します。

川へ入り、網ですくって探します。石のうらに生息していることが多いので、石を動かしてすくいます。網にくっついていて小さい生き物も見逃さないように集めていきます。



子どもたちは、はじめは恐る恐るでしたが、慣れてくると楽しそうに探していました。

最後に資料を見比べながら、集めた水生生物の種類や数を確かめます。この日は大きなカジカも見つけました。その他、きれいな川に生息する生物がたくさんいました。

このことから、滝名川はとてもきれいな川だということということがわかりました。

環境マイスター紫波では、地域へ出向いて「小中学校や子供会への出前講座」「ごみの減量・分別説明会」「自然観察会」「農地水環境保全団体への支援」など行っています。

# 試してみませんか？ ◇◇◇◇ 生ごみの水切りダイエット ◇◇◇◇



近年、県内市町村のごみの量が増加しています。家庭から出るごみのうち、約4割が生ごみといわれており、さらにその生ごみの約8割が水分と言われています。そのため、生ごみの水分をしっかりと切って捨てることは、ごみの量を減らし、環境への負荷を軽減することにつながります。

そこで今回、生ごみの水切りの効果を知るために、希望者に生ごみ水切り器「水切りダイエット」をお配りしてその効果を体験していただきます。

## 「水切りダイエット」を体験したい方は

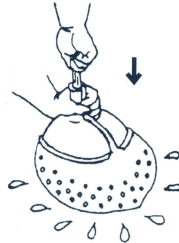
8月25日～9月3日までに紫波町役場環境課、または紫波みらい研究所でお渡しします。数に限りがありますので、無くなり次第終了とさせていただきます。

### ① ご使用の方法



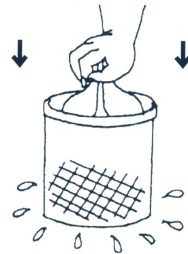
三角コーナーに溜まった生ごみを上から押さえつける。

### ② 本体の切れ込み部に水切り袋を横から差し込んで下さい。



水切り袋に溜まった生ごみを上から押さえつける。

### ③



排水口に溜まった生ごみを上から押さえつける。

## こんな効果が期待できます！！

- ☆ひと押しするだけで5～10%程度の水切りができます
- ☆ごみ減量に効果があります ☆焼却場の能力も向上します
- ☆堆肥化にも水切りが必要です



## 第34回環境探検隊「動物と共生する森をつくろう」参加者募集!!

この事業は、令和3年度いわて森林づくり県民税県民参加の森林づくり促進事業の補助金で運営しています。



開催日：9月25日（土）10時～12時

場 所：山王海ダム奥の「平成の森」

内 容：約20年前から「平成の森」には山に住む動物たちが里へ下りてこないよう、実のなる木を植えてきました。その木が大きくなり育つよう、のこぎりを使って木の手入れをします。

参加対象：小学生以上のお子様と保護者、先着20名

参加費：1人500円（おやつ代等）

お申込みは：9月15日（水）までに

NPO 法人紫波みらい研究所へお申し込みください。

E-mail miraiken@shiwa-mirai.com

TEL019-671-2244 FAX019-671-2243

